

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

2027年度をターゲットとした新中期経営計画（Conversion2027）により、3つの観点で強力に「転換」を実行。

連結売上高
2.9兆円

営業利益
3,500億円

営業利益率
12%

ROIC
12%

② 中長期の経営戦略

1. 高収益構造へ転換

不採算・ノンコア事業見直し、材料費削減、拠点統廃合による人員削減。売上高1%を戦略投資枠として確保し高収益構造確立。

3. 精密小型モータ事業展開

HDD用モータの安定需要確保。AI水冷モジュール、電動二輪車向けモータの成長事業開発を加速。

2. 事業5本柱への転換

AI社会支援、サステナブル・インフラ、産業生産効率化、Better Life、モビリティイノベーションの5領域でシナジー追求。

4. 車載事業強化統合

世界No.1シェア電動パワステ・ブレーキモータ展開。組織統合によるオペレーション競争力強化。中国EV市場対応強化。

③ 対処すべき課題

① コンプライアンス・会計問題

- ・ FIR社の原産国申告誤りと未払関税発生の疑い
- ・ テクノモータ中国子会社の不適切会計処理（2024年9月、購買一時金1,000万元約2億円）
- ・ 複数グループ会社での資産評価減恣意性疑い

② 第三者委員会設置対応

- ・ 2025年9月3日に日本弁護士連合会ガイドライン準拠の第三者委員会設置決定
- ・ 外部専門家による調査と事実確認進行中
- ・ 監査等委員会監督下での社内調査体制強化

③ ESG目標達成

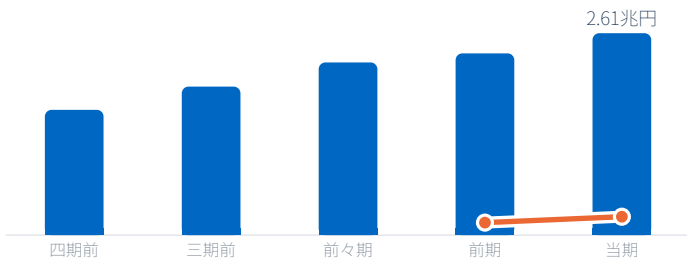
- ・ 2030年度までにScope1・2排出量42%削減（2022年度比）
- ・ 2030年度までにScope3排出量25%削減（2022年度比）
- ・ 2040年度までにScope1・2ネットゼロ、2050年度までにScope3ネットゼロ目指す

面接で使えるポイント

- ・ Conversion2027で2.9兆円売上・営業利益3,500億円を目指し、AI、モビリティ…
- ・ 2030年度グローバルNo.1総合工作機械メーカー目標で2024年までに4社買収し製品ラインアップ拡充を推進
- ・ 2030年度CO2排出量42%削減、2050年度Scope3ネットゼロ目指すESG経営で社会課題解決に貢献

証券コード 6594

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.61兆円営業利益率
9.1%財務健康度
59点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
760万円

電気機器内 79位/225社

平均年齢
42.2歳

電気機器内 150位/225社

平均勤続
13.3年

電気機器内 163位/225社

女性管理職
8.5%

電気機器内 44位/182社

男性育休
42.9%

電気機器内 160位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ニデック株式会社様 メジャーパートナー契約締結のお知らせ

